

ご紹介

みちのくDAO 発起人 / スパークル株式会社 代表取締役 福留 秀基

2023/03/16



みちのくDAO

自己紹介

プロフィール

幼稚園の頃から一貫してデジタル技術に触れている、デジタルネイティブ世代。
東北地方でご活躍される皆様の発展に資する事業創造・事業変革をお手伝いしております。



福留 秀基 FUKUDOME HIDEKI

みちのくDAO 発起人 / スパークル株式会社 代表取締役

東北大学大学院通信工学専攻修了後、株式会社シグマキスにてデジタル戦略コンサルタントとして飲料メーカー・金融業・専門商社・小売業などのクライアントへの新規事業開発・PMO 案件・ビジネスデューデリジェンス・データ解析に従事後、スパークルに参画、現在代表取締役。ハイテク・R&D領域を中心としたベンチャーキャピタル業務、デジタルを活用した東北発DXの推進、戦略領域を中心としたコンサルテーションを実施している。一般社団法人DX NEXT TOHOKU理事、一般社団法人東北絆テーブル理事、東経連ビジネスセンター事業化コーディネーター。みちのくDAO発起人。

【得意分野】

- ・ デジタル技術を用いた事業創造・事業変革（戦略策定・業務改善・実装方法検討等）
- ・ PMO（プロジェクト種類を問わないステークホルダー管理）



基礎情報

新しい世界の経済循環をつくる。地域の発展を担うビジネスの着火剤となります。ベンチャーファンドの運営、コミュニティの運営、東北地方の企業向け経営ソリューションの共創を行っております。

会社概要



会社名称 スパークル株式会社

代表 福留 秀基

拠点 宮城県仙台市、福島県南相馬市

従業員数 10名

事業内容

ファンド事業

東北の起業家様を主な対象として、出資や売上連動型の投資を行っています。また、起業を目指す方々へのサポートも積極的に行っています。

コミュニティ事業

東北の起業家様を対象として創業初期の段階からハンズオン支援の場をご提供しています。

経営ソリューション事業

東北の企業様を対象として新規事業の立上や既存事業の改善を包括的にご提案する、企業課題に寄り添ったフルカスタマイズ型のコンサルティングサービスを提供しています。

当社の特徴

弊社は、地域の起業家向け支援プログラムの企画・運営・サポートについて多数の実績を有しています。

弊社が過去に企画・運営した主な起業家向け支援プログラム

プログラム名	プログラム概要	主な実績
TGA (Tohoku Growth Accelerator) (2018,2019,2021)	東北の地域経済を牽引するロールモデル起業家、および新規事業が生まれる仕組みを生み出すためのプログラムを企画・運営	累計応募者数: 146名 累計支援者数: 55名 累計ビジネスマッチング: 120件
TUSG (東北大学スタートアップガレージ) (2017-)	東北大学に所属する学生に対する起業相談、ピッチイベント	起業相談件数: 174件 (2021年度) 起業数: 1件 (2021年度)
会津地域ベンチャー創成支援財団 (2020-)	会津大学に所属する学生に対する起業相談、座談会等	座談会参加学生数: 65名 起業相談数: 34名
Tohoku-Israel Startup Global Challenge Program (2021)	イスラエル大使館、JETRO、日本財団と連携し、東北からグローバルへの直接展開を支援するプログラム	東北スタートアップ8社に海外メンター割当 1社海外事業会社と売買契約を提携

現在実施中・実績のある域外発信・連携プログラム

News Picks コラボ



NewsPicksとのコラボセッションを独自構築し、東北に関する記事を3つ、首都圏を中心とした域外に宣伝。合計850超のpickを獲得

東北-域外大企業連携マッチングプログラム



首都圏・グローバル大企業と東北のスタートアップのマッチングを、弊社が先導して実施

みちのくDAO = web3による地域単位での経済圏確立を目指す運動

みちのくDAOのご紹介



DX-readyの一般化とWeb3

数年前に一世を風靡したブロックチェーンや時代の揺り戻しが発生しつつあります。DX-readyが当たり前前の時代が到来し、DXによってデジタル化されたデータは社会システムと変容していきます。

Level	フェーズ	応用例	コア技術
Lv.1	ツールの電子化 (Digitization)	紙 -> PDF 手紙 -> メール 書類 -> Google Drive コミュニケーション -> Zoom, Slack	インターネット PC, スマホ, タブレット
Lv.2	業務のデジタル化 (Digitalization)	デジタルに合わせた業務設計 WFツールで紙・ハンコ廃止 会計ソフト・人事労務ソフト・電子契約 ソフト導入など	業務用SaaS クラウド CRM, SFA
Lv.3	業務の高度化 ビジネスの構造変化 (Digital Transformation)	自動決済、自動受発注 設備の自律制御(自動運転、自動倉庫etc) データドリブンな意思決定 アルゴリズムでのマッチング 業務のオートメーション化	機械学習 IoT データ分析, BI
Lv.4	会社横断・業界横断 でのデジタル化 (Digital Ecosystem)	企業間での受発注共有 → Finance サプライチェーンマネジメント(CO2 etc) 請求書の規格化・標準化 CBDC(デジタル通貨) AMLの自動プログラム化	ブロックチェーン プライバシーテック

東北/地方でよく語られるDX
(DX化、広義のDX)

デジタル新規事業創出
(狭義のDX)

デジタル社会変容
(Web3)

出典: LayersX資料



みちのくDAOのご紹介

みちのくDAOの展望

みちのくDAOは大きく5つの段階を経て、きたるデジタル田園都市の地域結節点かつ企画・推進の組織として、東北地方の多極化・分権化を進める(仮想「東北州」を作る)存在を目指します。

	みちのくDAOの役割	主な機能
第一段階	✓ デジタル・Web3を活用した事業応援 コミュニティ	東北内の産学官金の皆様と 東北内外の起業家・エンジニアをマッチング
第二段階	✓ NFTによる事業推進の原資確保と、 意思決定方法の設計	NFT発行によるクラウドファンディングに代わる 低手数料な資金獲得手段
第三段階	✓ 地域金融機関を発行体としたデジタル地域 通貨を作成し、NFTの裏付けを地域に作成 する	デジタル地域通貨の国際流通によって生じる 取引量増加による地銀ビジネスモデルの再興
第四段階	✓ コミュニティ・事業推進の原資確保・意思決 定方法をパッケージ化し、サブコミュニティ 作成キットとして地域に展開	東北各地域におけるNFTプロジェクト 立ち上げ支援
最終段階	✓ 地域に展開したサブコミュニティを統括する 「みちのくDAO」が地域の経済活動の主体 を担う	地域振興活動の管理と促進 (バーチャル道州制による経済圏の多極化)

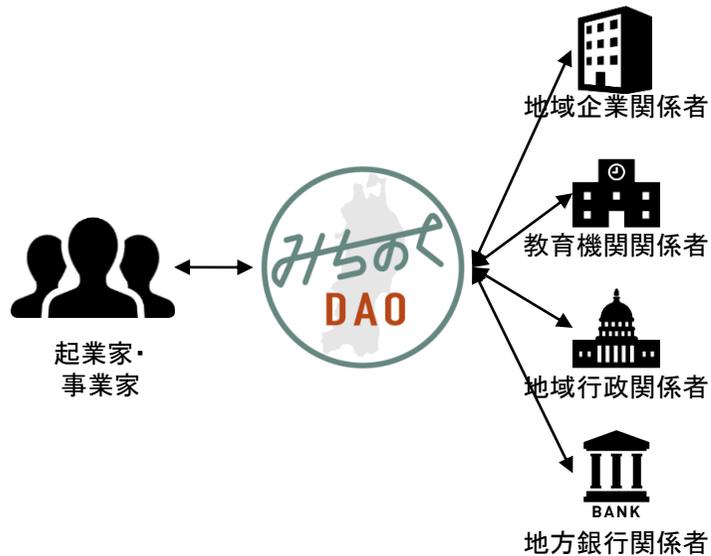


みちのくDAOのご紹介

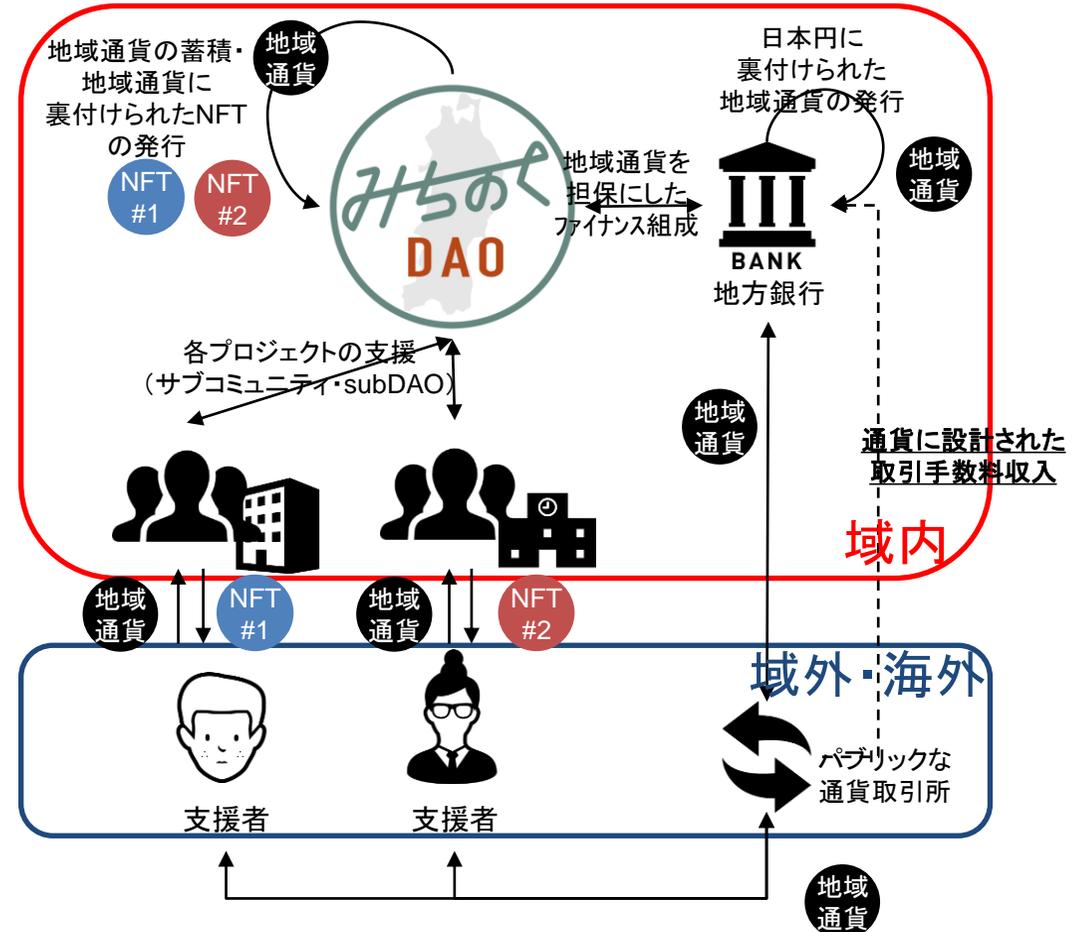
みちのくDAOの展望

現状の東北におけるWeb3・デジタルを用いた事業展開を考える起業家・事業者と各関係者を繋げるコミュニティを皮切りに、海外投資家を巻き込んだ地域通貨の経済循環ハブを目指します。

第一段階



最終段階



DAOについて私見

なぜ本事業をDAOで回そうと思ったか

→だれもが気軽に匿名で加入でき、かつクラウドファンディングのように実効的な取り組みを作成したかったから。

どのような点でDAOにメリットを感じているか

→所有や意思決定へのハードルを大きく下げる。

逆に課題と感じていることはあるか

→法規制、失敗の許容(どうしても詐欺的な話が多い。セキュリティー・リテラシー・リカレント教育の徹底)



みちのくDAOの目指すべき姿

みちのくDAOは地域経済にリスクマネーを供給しつつエグジット先となり得る組織を目指します。更に経済圏拡大のために、地銀と協力し地域通貨による海外投資家の呼び込みを行います。

地域資本で循環型のクラウドファンディング代替サービスをつくる

プロジェクトごとに資金が分断されないように、NFTや地域通貨を使ったクラウドファンディング代替サービス(Social DAO)を地域資本で作成し、地域内で経済循環が活発に起きるようにする。

インパクト投資におけるエグジット・コミュニティをつくる

地域に愛されて存在したいという組織に対する投資のエグジット(持ち分売却)先は、地域で活動するエクイティ・プレイヤー共通の課題感であり、上場や自社株買い以外の売却先が急務である。売却先としてDAOを利用した、エグジットコミュニティ(Investment DAO)を作れるのではないかと考える。

地銀再興の手段としての、地域通貨やステーブルコインをつくる

地域経済の中核たる地方銀行の黄金時代を再び迎えるために、ステーブルコイン(日本円に連動するなど、価格の安定性を実現するように設計された暗号資産)での地域通貨の発行体となり海外投資家を呼び込むことで、東北の経済圏の急拡大を目指す。



結びに

みちのくDAOに関心のある方はぜひ記事を御覧ください！

コミュニティ・マネージャーも募集中です！

